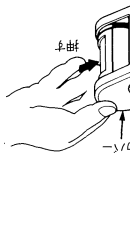
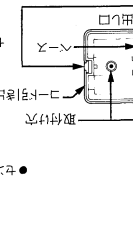
■各部の名称



〈正 面〉



〈底 面〉

●センサ本体のはずし方

〈フレネルレンズの内部〉

●センサ本体の開け方

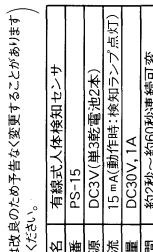
（底ヒンジを使って開けます）

（ドライバーなどをあてがうなどして開けてください）

■電池の入れ方と交換方法

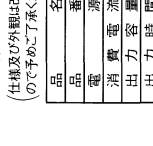
本器は単3乾電池2本を使用します。電池寿命は約20回検知動作した場合約1年です。

下図に示す順序で行なってください。



（既に装着の電池を交換する場合の電源交換方法）

●ネジ2本のはずし方」を参照してください。次に本体をスライドさせながらフタを開けてください。

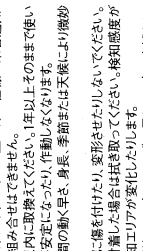


（電池のプラス・マイナスの向きに注意して入れてください。）

（電池ホルダーのツメに引っかけるようにはめ込んでください。）

●ネジ2本をしっかりと締めてください。

●ネジ2本のはずし方



●ネジ2本をしっかりと締めてください。

●電池は⊕⊖を必ず合わせて入れてください。

●検知感度は人間の動く早さ、身長、季節または天候により微妙に変わります。

●フレネルレンズに傷を付けたり、変形させたりしないでください。また、ホコリが付着した場合は拭き取ってください。拭き取感度が低下したり、検知エリアが変化したりします。

●本器の手入れ(特にフレネルレンズ)は柔らかい布で空拭きか、中性洗剤を薄めた水で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの薬品は、表面の変色、変形の原因となります。

●ご使用中に異常が発生した場合は、ただちに電池を抜き取った後、購入店へご相談ください。ご自分での点検、修理、改造は行なわないでください。

■仕様

(仕様及びが外観は改良のため予告なく変更することがあります)

(の)で予めご了承ください。

品　　名	有線式人体検知センサ
品　　番	PS-15
電　　源	DC3V(単3乾電池2本)
電　流　値	15 mA(動作時)・検知ランプ点灯)
出力時間	約2秒～約60秒連動時可変
出力容量	DC30V、1A
使用温度範囲	−10～+50℃
重　　量	95g
外観寸法	61(H)×95(W)×61(D)mm
設置場所	屋内・軒下

■取付け方

ベースを本体よりはずして付属のネジ2本で取付けます。

〈取付け上の注意〉

●取付け位置は検知したい場所にセンサ正面がくるよう壁面を選んでください。その際、壁ぅ面の検知エリア図、お知らせ下さってください。

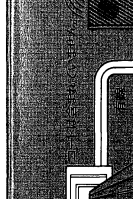
ベースからの目盛ドライバーの角度調整

●検知エリアは床面、壁面等の遮蔽物(ふとん等)を取付けてください。窓、空調、木(様木・鉢植)等も動物(ペット類)の通路にしないでの取付け位置動作の原因となりますのでお避けください。

■コード接続方法

●コード引き出し

図のようにコード引き出す側の本体の2極各線の分をカッターで切り、電線を取り除く。



天井付けの場合

壁面付けの場合

●CA-10B ●CA-6B-SA-18B
SA-10B SA-20B-SA-25B

●CA-10B ●CA-6B-SA-18B
SA-10B SA-20B-SA-25B

コードを引き出す開所のカバーの厚みの薄い部分(図の反対側と合せて4箇所あり)をカッターナイフ等で切り取る。

●弦楽の幹品のコードを接続品(⊕⊖の表示部)。各々のレンズに(⊕⊖)の表示をして下図を参照)。自動レンジャーは各レンズの外側に配置することにより各レンズが形成する検知エリアを不感エリア(人体の侵入を検知できない)にできる領域が狭くなります。

●CA-20B-CA-501B
1→⊕ 2→⊖ 3→⊕
●CA-40B-CA-301B・CA-401B
1.2.3.4→⊖ C→⊕
●CA-30B
1→⊕ 2→⊖
●SA-1800B
5→⊖ 6→⊕
その他の弦子接続可
●CA-6B-SA-18B
SA-10B SA-20B-SA-25B

※弦の幹品のコードは、OFF配線仕様のため(使用できません)

●上記以外(自動連動)で組み合せ可能な機種はその機種の取扱説明書に表示しております。

■電源

本器は単3乾電池2本を使用します。電池寿命は1日20回検知動作した場合約1年です。

※店舗等来客が多い場所での使用は、アルカリ乾電池の使用をおすすめします。

■結線方法

●本器使用の結線

●一般的な結線

●接続または別売の押ボタン(P.26-28)や防犯スイッチ(MS-102)のON/OFFが可能できます。

※本器には⊕⊖の極性があります。極性を間違えないように結線してください。

※出力コネクタのコード接続方法は台紙の内側を参照してください。

■使用方法

出力時間の調整

出力時間調整ボリューム(ドライバー等で回し、組み合せ機器との選択)を時間に調整してください。出力時間は約2～約60秒の連続可変です。

検知エリア

人体を検知するエリアは右上図のようになっています。このエリア内へ人間が侵入すれば、スイッチは出力調整がボリュームで調整された時間だけOFFからONになります。また本器は右図のように検知部が回転し検知エリアがフレキシブルに可変できますので取付けが便利です。

●人口灯を監視したい場合

左のごの接続と同じ。

●踏板を取付ける